

# あなたの男女共同参画度がわかる!?

あなたの意識度をチェック☑してきましょう!  
あまり悩まず、リラックスして直感でお答えください。

## 家庭生活編

- ☐ 男性が食事の支度や片付け、洗濯などをするに違和感を覚える。
- ☐ 女性の部屋が散らかっていると幻滅する。
- ☐ 男性が育児をするのに専念している姿を見ると不思議に思う。
- ☐ 家事に支障がない範囲なら、妻が働いたり趣味の活動をするのはよいと思う。
- ☐ 男性の姓が変わると何事かあったのかと思う。

## 職場編

- ☐ 女性は出産に伴う長期休暇が考えられるので、本音をいうと期待できない。
- ☐ 育児休業・介護休業は女性のためのもので、男性は取らないほうがよいと思う。
- ☐ 営業なら男性、事務なら女性のほうが向いていると思う。
- ☐ 女性より男性に残業や休日出勤を頼みやすい。
- ☐ 来客へのお茶出しを、男性がしていると驚く。

## 地域生活編

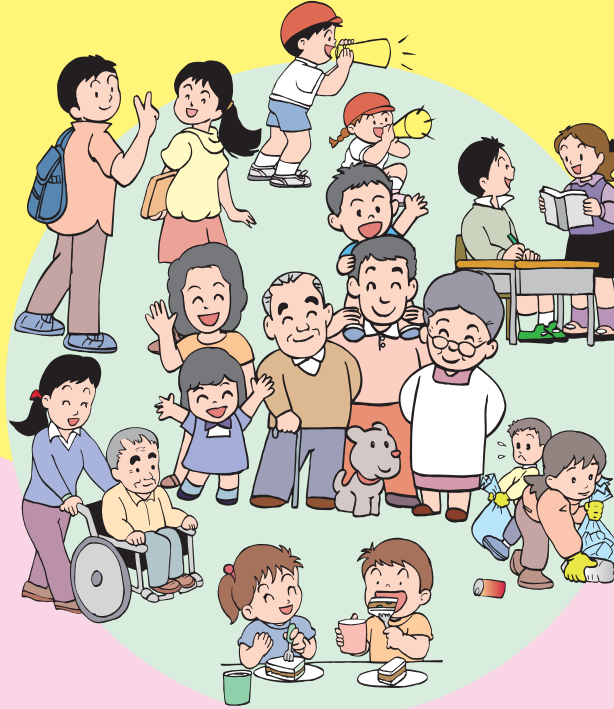
- ☐ 地域の行事は、実行委員が男性で、慰労会のセッティングなどは女性に任せたいと思う。
- ☐ PTAでは、女性が中心に活動すればよいが、企画や運営について発言するのは、でしゃばりだと思う。
- ☐ 地域の活動は、仕事をしていない女性や高齢者に任せておけばよいと思う。
- ☐ 妻が趣味や社会活動に熱中するのは、家事がおろそかになりあまり感心しない。
- ☐ 自治会の仕事の中で、他の組織と連絡調整を担当するのは男性がよいと思う。

あなたは、いくつチェックが付きましたか?

チェックの数が0~2個	チェックの数が3~4個	チェックの数が5個以上
男女が対等なパートナーと十分理解しています。今後も、男女共同参画の考えに基づいた行動をしていきましょう。	なかなかの常識派ですが、今一步の努力が必要です。男女共同参画への意識をさらに高めましょう。	まだまだ男女共同参画の意識が足りないようです。男女共同参画への意識を少しでも向上させましょう。

# 男女共同参画って、なあに!?

単に性別によって、男だから、女だからこうしなければならないというものではありません。一人ひとりが個人として人格が尊重され、個性と能力を十分に発揮することができ、男女ともに本人の意思が尊重され、ともに責任も果たしていく社会のことをいいます。



# きらめきインタビュー

**この機関紙に期待すること**  
創刊おめでとうございます。私がこの機関紙に期待するのは、当たり前前と違って生活しているも「えっ、これが差別だったの。」と気づいてもらえる内容です。意識していない差別があるのです。それを具体的にわかるようにしていただくと気がつく事が出来ると思います。それから見やすい紙面づくりをしてほしいと思います。苦勞して作った機関紙を読んでもいただけないと悲しいものです。

**女団連の今後の課題**  
新人の少ない組織がある事と組織の外に目を向ける余力が無い事です。しかし、このような苦境でもいざ行事を行うとなると大きな力を発揮します。ですから、学習する機会を大切にし、一人ひとりが力をつけ、絆を大切にしながら継続していきたく思います。更に各種団体との連携も必要です。最後になりますが、この機関紙も大いに活用して活動したいと思います。(インタビュー担当…上野)



多方面でご活躍中の森田会長は、現在、20歳になる三つ子のお母さんでもあります。  
プロフィール  
平成元年 埼玉県鴻巣市より転入  
平成4年度 やよい会(田南河内町生活学校やよい会)に入会  
平成15年度 やよい会会長  
平成18年 下野市女性団体連絡協議会副会長  
平成19年度 副会長  
平成20年度 下野市女性団体連絡協議会会長

森田伊知子さん  
下野市女性団体連絡協議会会長に聞きました。

# 「女」と「男」の独り言

## ご案内

日常の中でふっと感じたずれ、なかなか消えない心の引っ掛かり。それらは時に、独り言となってひよと現れてきます。そんな独り言を集めてみました。今度はあなたの独り言も聞かせていただけませんか?

夫は家事も育児もノータッチ。カップヌードルも作りません。同居している義母の手前、なかなか「やって」とはいえません・・・  
＜40代主婦＞

単身赴任の夫が毎週帰ってくるたびに、下着から何から汚れ物を持って帰ってきてびっくりしちゃう。不衛生といったら、下着は自分で洗うようになったけど。  
＜30代女性＞

僕は、掃除や料理、いわゆる家事が嫌いじゃない。彼女が公務員でハード。僕が主夫になったら変かな。  
＜20代フリーター男性＞

勤続年数、仕事の能力は同じぐらいの男性社員と女性社員がいた場合、昇格するのは女性社員のほうです。女はいいよなあ・・・  
＜40代公務員男性＞

結婚はしたくない。自由でいたいから。  
＜10代高校生女子＞

私は、この春定年退職を迎え会社から解放されました。会社時代は仕事人間でしたので家事・育児はもっぱら家内にまかせっぱなしでした。最近はやっと布団上げ、生ゴミだし、風呂掃除の担当となりましたが、育児についてはもはや時期を逸しており後悔しています。家内は、毎日の家事・近所付き合いのかたわら、育児一切をこなしてきたわけです。今思えば「仕事人間」である前に「家庭人間」であるべきだったとつくづく思うこのごろです。  
＜60代男性＞

営業店頭の女子3人のうち1人から産休、もう1人は育児・介護休暇の申し出がありました。長期休暇は、社内規定とはいえ、ギリギリの人員体制の中で店内ヤリくりは大変です。代替者は不慣れなためミス連発、ヒヤリハットの連日です。賞与・昇進等の業務精励・貢献度の考課評価において当然格差が生じます。これは、男性優遇の問題ではなく会社や行政の環境支援の問題ですが、現実にはいつになっても割り切れません。  
＜50代男性＞

昔は女がなぐられるのは、たまげることじゃあぬめ(なかったよ)  
＜80代女性＞

農家のかあちゃんは、外では父ちゃんをたてているが、家の中では実権を握ってた。  
＜50代女性＞

毎月生活費として決まった額が渡される。その中で必死にやりくりしているのに、夫は突然どん!と大きな買い物をする。自分の稼ぎを好きに使っているだけと言って。  
＜40代女性＞

私の孫達はオムツを替えているよ。時代は変わったなあ。  
＜70代女性＞

私の会社は、「長」のつくのは男性職員だけです。  
＜30代パート女性＞

もうすぐ夫は第2の職場の定年。ずっと家にいることになる。私はもうしばらくパート勤め。もうしらかしてお屋敷を用意して出かけるか? いやいやいけなから?  
＜60代女性＞